

あいかわ 議会だより

第181号

令和6年5月15日発行

釣り人と角田大橋

- 各会計の新年度予算を決定 P.2
- 愛川町学校給食費の管理に関する条例を可決 P.2
～学校給食費を公会計化に～
- 議員提出議案
愛川町議会委員会条例の一部を改正する条例を可決 P.4
- 国へ意見書を提出 P.16

議会クイズ 抽選で3名の方に
商品券が当たる！

スマホで簡単応募

詳しくはP17をご覧ください



令和6年5月15日

2024

愛川町議会

令和6年第1回愛川町議会「3月定例会」は、2月28日から3月25日まで、会期27日間（本会議開催日6日間）にわたり開催され、条例の制定等をはじめ、新年度予算や補正予算、事件議案など、合計で33件の町長提出議案及び2件の議員提出議案を審議し、全議案を可決するとともに、陳情2件を審議しました。



令和6年第1回3月定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
2	28	水	本会議	町長施政方針演説、町長提出議案の説明
	29	木	本会議	一般質問（6人）
3	1	金	本会議	一般質問（4人）
	5	火	本会議	補正予算・事件関係議案に対する個人総括質疑、討論、採決
	7	木	本会議	施政方針・条例・新年度予算に対する会派代表質問、委員会分割付託の決定
	8	金	総務建設常任委員会 教育民生常任委員会	付託案件の補足説明・現地調査
	13	水	総務建設常任委員会	付託案件の審査（総務所管）
	14	木	教育民生常任委員会	付託案件の審査（民生所管）
	15	金	総務建設常任委員会	付託案件の審査（経済建設所管）
	18	月	教育民生常任委員会	付託案件の審査（教育所管ほか）
	25	月	本会議	付託案件の審査結果の委員長報告、質疑、討論、採決 町長提出議案の説明、質疑、討論、採決 議員提出議案の説明、質疑、討論、採決

過去最大の予算額

総額265億2千283万8千円
令和6年度当初予算を可決

会計名		予算額	構成比	前年度比
一般会計		145億400万円	54.7%	4.9%
特別会計	国民健康保険	45億5,700万円	17.2%	△6.2%
	後期高齢者医療	6億8,700万円	2.6%	16.4%
	介護保険	36億7,200万円	13.8%	4.9%
	小計	89億1,600万円	33.6%	△0.4%
企業会計	公共下水道事業	20億1,583万8千円	7.6%	6.9%
	水道事業	10億8,700万円	4.1%	△6.7%
	小計	31億283万8千円	11.7%	1.7%
合計		265億2,283万8千円	100.0%	2.7%



©愛川町



上記の2次元コードを読み込むと、スマートフォンやタブレットから当初予算の詳細がご覧になれます。

※議長は表決に含まず。

◎水道事業会計予算
（以上、賛成全員）

◎介護保険特別会計予算
（賛成10人、反対3人）
◎公共下水道事業会計予算
（賛成全員）

計予算

◎一般会計予算
◎国民健康保険特別会計
予算（以上、賛成全員）
◎後期高齢者医療特別会計

◎固定資産評価審査委員会委員の選任
（賛成全員）

人事議案

定めるものです。

【施行期日】

令和6年9月1日

◎愛川町立学校給食共同調理場条例の制定
（賛成全員）

令和2年9月から「親子方式」による温かい中学校給食を開始し、法の規定に基づく共同調理場として位置付けることが県に認められたことから、より適切な管理運営に資するため、新たに条例を制定するものです。

◎愛川町学校給食費の管理に関する条例の制定
（賛成全員）
八木章氏

条例議案

これまで学校が徴収していた学校給食費を、町の一般会計へ編入する公会計化を行うに当たり、その債権債務関係を明文化するなど学校給食費の管理に必要な事項を

【施行期日】

令和6年4月1日

◎愛川町附属機関の設置に関する条例の一部改正
（賛成全員）

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」

本条例に規定する「体育室」、「卓球場」、「剣道場」、「柔道場」の個人使用料について、中学生以下の使用料を無料とするほか、「トレーニングルーム」は、老朽化しているトレーニングマシンを全面的に更新し、使用料を改定するとともに、利用者の利便性向上を図るため、使用時間の単位を見直すものです。

施設名	区分	改正前	改正後
第1号公園	大人2時間	100円	200円
	大人回数券(11枚)	1,000円	2,000円
田代運動公園	大人1回	300円	400円

※中学生以下は、据え置き

令和6年4月1日
◎愛川町立第1号公園体育館条例の一部改正
(賛成全員)

【施行期日】
令和6年4月1日

「地方自治法」の一部改正等に伴い、会計年度任用職員に対し、勤勉手当が支給可能となったため、同職員の勤勉手当の支給について、所要の改正を行うものです。

令和6年4月1日
◎愛川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
(賛成全員)

「中津工業団地第1号公園」及び「田代運動公園」の水泳プールは、光熱水費の高騰による維持管理経費等の増大により、プールの開設に係る運営経費が増加しており、引き続き施設の適切な運営を図るため、同施設の使用料を改定するものです。

【施行期日】
令和6年10月1日

◎愛川町都市公園の設置及び管理に関する条例の一部改正
(賛成全員)

在宅障害者福祉手当は、在宅の福祉サービスが十分ではなかった昭和48年度から支給を開始し、これまで状況に応じた改正を行っているが、近年では、在宅障害者の生活を支える福祉サービスの環境が整備され、充実してきていることから、支給金額について所要の改正を行うものです。

【施行期日】
令和6年7月1日

◎愛川町在宅障害者福祉手当条例の一部改正
(賛成10人、反対3人)

第1号被保険者の保険料率を定めるため、所要の改正を行うものです。

【施行期日】
令和6年4月1日

◎愛川町営住宅条例の一部改正
(賛成全員)

産業振興と雇用機会の更なる拡大を図るため、町内の指定区域に立地等する企業が一定の要件を満たした場合に、固定資産税及び都市計画税の課税を2年間免除し、奨励措置の適用期間を延長するため、所要の改正を行うものです。

【施行期日】
令和6年4月1日

◎愛川町公共下水道事業の設置等に関する条例及び愛川町水道事業の設置等に関する条例の一部改正
(賛成全員)

「地方自治法」の一部改正に伴い、同法に新たな条文が追加されたことにより、条文の繰り下げが生じることから、所要の改正を行うものです。

【施行期日】
令和6年4月1日

◎愛川町水道事業給水条例の一部改正
(賛成全員)

水道事業の健全な財政運営を図るため、水道料金について、所要の改正を行うものです。

【施行期日】
令和6年4月1日

◎愛川町消防団員等公務災害補償条例の一部改正
(賛成全員)

「非常勤消防団員等に係る損害賠償の基準を定める政令」の一部改正に伴い、補償基礎額が引き上げられることから、所要の改正を行うものです。

【施行期日】
令和6年4月1日

令和6年5月15日

補正予算

◎令和5年度愛川町一般会計補正予算(第8号)

(賛成全員)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ2億8,778万3千円を追加し、一般会計の総額を153億1,194万4千円としたものです。

主な内容として、低所得者世帯支援給付金給付事業費(住民税均等割のみ課税世帯分)1億1,800万円の増額は、対象世帯1世帯あたり10万円を給付するもので、均等割のみ課税世帯1,180世帯分の給付事業費を見込んだものです。

◎令和5年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第3号) (賛成全員)

◎令和5年度愛川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

(賛成10人、反対3人)

◎令和5年度愛川町介護保険特別会計補正予算

(第3号) (賛成全員)

◎令和5年度愛川町公共下水道事業会計補正予算(第2号) (賛成全員)

◎令和5年度愛川町水道事業会計補正予算(第2号) (賛成全員)

◎令和5年度愛川町一般会計補正予算(第9号) (賛成全員)

◎令和5年度愛川町一般会計補正予算(第9号)

(賛成全員)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ10万円を追加し、一般会計の総額を153億1,204万4千円としたものです。

内容は、企業版ふるさと納税において、町内に事業所を有する企業1社から1,000万円の寄附及びその他の一般寄附です。

なお、ふるさと納税の使途は、寄附者の意向に沿い「高等学校等通学助成事業費」に充当します。

事件議案

■財産の取得

◎職員事務用椅子購入

(賛成全員)

現在、職員が使用している事務用椅子を更新したものです。

取得価格(合計352脚)1,410万2千円

納入者

株式会社ミリオン事務機器

納入期限

令和6年3月31日

◎教師用指導書購入

(賛成全員)

4年に一度の小学校用教科書の改訂に伴い、教員が教科書に基づいた授業づくりをするため、来年度

用の小中学校教師用指導書を購入するものです。

取得価格(1,077冊)1,349万2,710円

納入者

株式会社ナカムラ

納入期限

令和6年3月29日

◎工事請負契約の変更

令和6年3月29日

◎令和5年度平山下平線第1工区改良工事

(賛成全員)

変更後請負契約金額

8,978万6,400円

請負契約の相手

請求金額

77万9,592円

鈴木土建株式会社

変更後工期

令和5年6月21日から

令和6年6月28日まで

◎町道路線の認定

(賛成全員)

新たに町道として管理する必要が生じた路線について、町道路線の認定をするものです。

今回は開発行為に伴う「帰属」により、新たに中津地内の8路線を認定しました。

◎物損事故に係る損害賠償

(賛成全員)

角田地内の町道において、し尿収集車が停車していた相手方車両とすれ違う際、路面左端の盛り上がり部分に左側のタイヤを乗り上げたことで、車

体が右に傾き、荷台右側後方の角が相手側車両の右側面と接触し、損害を

与えたため、相手方車両の修繕費用を負担するものです。

損害賠償額

77万9,592円

議員提出議案

◎愛川町議会委員会条例の一部改正 (賛成全員)

愛川町部等設置条例の一部改正に伴い、令和6

年4月1日から新たに「財務部」が設置されるこ

とから、総務建設常任委

員会の所管事項に「財務

部の所管に属する事項」

を新たに加えるものです。

【施行期日

令和6年4月1日】

◎女性差別撤廃条約選択

議定書の批准を求める意

見書の提出

(賛成10人、反対3人)

女性の権利を国際基準

にする重要な第一歩であ

ると考え、女性差別撤廃

条約選択議定書の批准を

求める意見書を提出する

ものです。

※意見書の詳細は16ページ

個人総括質疑

3月5日の本会議で

は、補正予算及び事件議

案に対し、阿部議員、鈴木

議員、岸上議員、熊坂議員、

茅大夢議員、花上議員、小

林議員の7名が個人総括

質疑を行いました。質疑

案に対し、阿部議員、鈴木

議員、岸上議員、熊坂議員、

茅大夢議員、花上議員、小

林議員の7名が個人総括

質疑を行いました。質疑

項目の一部を紹介します。

地域生活支援事業費増額

増額の詳細について

愛川聖苑施設使用料減額

減額の詳細について

公共下水道事業会計

負担金等減額

減額の詳細について

現年課税分減額

減額の要因について

企業版ふるさと納税

寄附金

寄附金の詳細について

財産の取得について

教師用指導書の詳細に

ついて

後期高齢者医療広域連合

納付金増額

増額の詳細について

増額の詳細について

増額の詳細について

増額の詳細について

増額の詳細について

増額の詳細について

増額の詳細について

増額の詳細について

増額の詳細について

増額の詳細について

会派代表質問

本会議5日目の3月7日は、町長の施政方針等に対し、会派代表質問を行いました。内容の一部を紹介します。

愛川の新時代 (渡辺 基議員)

問 地域公共交通の維持に向けた法定協議会の設置に期待される効果について

町長 より時勢に即した交通施策の推進が期待できる。

地域公共交通計画の策定に当たっては、地域公共交通の利用者や交通事業者、道路管理者など、連携が必要となる幅広い分野の構成員から成る法定協議会において協議を行う必要があります。

同協議会で、持続可能な地域公共交通の在り方について検討を重ね、新たな地域公共交通計画を作成し、関係者が継続的に協議を行うことで、本町の地域性や移動ニーズにきめ細かく対応した交通体系の構築や計画の進捗管理など、より時勢に即した交通施策の推進が期待できます。



町内循環バス

問 買い物支援の考え方について

町長 本町の実情に即したよりよい方策を検討。

本町は、これまでも買物代行等を提供する住民ボランティア団体の活動を支援するなど、買物弱者支援に取り組んできましたが、国が示すように、これからの買物支援は行政だけではなく、スーパーなどの事業者はもとより、地域住民との連携が不可欠であると認識しています。

令和6年度は、支援ニーズをより詳細に把握するため、買物不便地域の高齢者を対象にアンケート調査を行い、その結果を踏まえ、課題などを拾

公明党 (佐藤りえ議員)

問 本町の新たな産業地の創出に向けた令和6年度の取り組みについて

町長 新たな土地利用について、地権者の意向を尊重し丁寧に進める。

既存の産業系用地に隣接し、圏央道の相模原愛川インターチェンジからのアクセスも良好な役場庁舎東側の一ツ井箕輪線沿道地区は、土地画整理事業の専門家にご協力をいただき、地権者へのヒアリングやアンケート調査、勉強会などの取り組みを行っています。しかし、調査結果は、現状の土地活用に一定程度満足している方が多く、新

たな土地利用に対する機運の醸成が図られていない状況です。

令和6年度の取り組みは、本事業の推進に当たり、まずは地権者の土地利用に対する理解の中で、機運を高めていくことが必要であり、専門家との相談や助言を参考に、土地画整理事業の先進事例の視察や意見交換会を行い、この地区の方向性について地権者の皆さんと共に考えていくなど、引き続き地権者の意向を尊重しながら、丁寧に進めていきます。



問 水道料金改定による利用者への影響と採算の見通しについて

町長 収入総額で18%増を見込み、令和10年度に改めて財政収支計画の精査を行う。

利用者の影響は、一般的な4人家族の平均使用水量である1か月当たり23立方メートルの使用で、口径13ミリの場合、2,259円(税抜き)が2,695円となり、436円の増となります。

料金改定に際し、町民生活への影響を考慮しつつ、令和10年度まで、健全な財政運営を維持できる見込みである18%の改定率が適当と審議会の答申を受けたことから、その答申を尊重し、18%増の改定とする一方、経営戦略の見直し予定年度に当たる10年度に、改めて財政収支計画の精査を行い、料金の在り方について検討します。

令和6年5月15日

日本共産党 愛川町議員団 (井上博明 議員)

問 空き家問題の解消に向けた令和6年度の取り組みについて

町長 新たにバンク登録した物件の所有者に対し、奨励金を交付する制度を導入する。

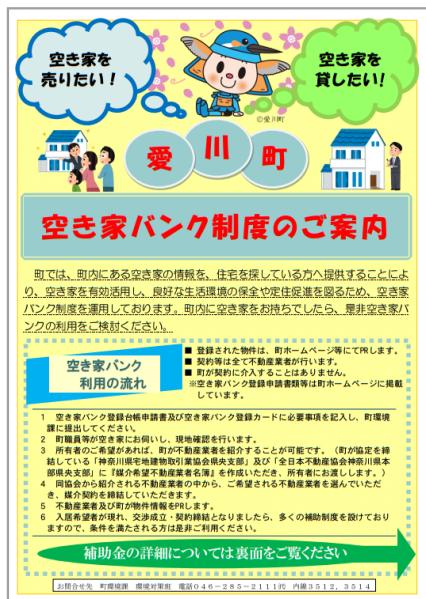
これまでの取り組みに加え、令和6年度は、新たにバンク登録した物件の所有者に対し、奨励金を交付する制度を導入するほか、包括連携協定を締結しているインフラ関連業者と連携し、情報提

供やバンク制度の紹介など、官民一体となった体制をさらに充実させていただきます。

このほか、令和5年に改定された特別措置法により、市町村の補完的役割を担い、必要な助言や普及啓発、所有者の検索などの業務を行う空家等管理活用支援法人の指定に当たり、本町の実情に合わせた基本的な考え方や審査基準を規定していきます。

今後とも、空き家の解消と発生抑制の両面から、空き家対策の推進に努めます。

空き家対策の推進に努めます。



問 国民健康保険税の増額抑制への取り組みについて

町長 これまでの事業のほか、糖尿病関連事業に加え、5つの新規事業に着手する。

令和6年度から、これまでの健康相談事業や特定健康診査受診率向上事業のほか、糖尿病性腎症重症化予防事業をはじめとした糖尿病関連事業に加え、5つの新規事業に着手する予定です。

具体的には、現在75歳以上の後期高齢者医療制度の被保険者を対象に実施している地域健康づくり事業、楽らくクラブなどにおける通いの場の支援に当たり、国保の被保険者も対象に加えたほか、早期介入の保健指導事業として、35歳以上の若年者を対象に加えた集団検診も実施します。

また、特定保健指導が必要な方への受診勧奨事業に加え、保健指導などを強化していくことで、

徹底した医療費の適正化を図り、保険税の上昇を抑制していきます。

令和あいかわ (阿部隆之 議員)

問 田代保育園の閉園検討に至った経緯と今後の予定について

町長 少子化による園児数の減少と施設の老朽化といった課題や、民間保育所の整備が進んでいることから、閉園を検討。

本町では、将来にわたって持続可能な行政機能を維持していくため、今後の町立保育園の効率的な施設運営を検討することを目的に、令和3年に町立保育園の在り方に関する検討委員会を設置し、協議を続けてきました。

その協議過程において、少子化による園児数の減少と施設の老朽化といった課題に加え、令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化により、民間による保育所の整備が進

むなど、保育を取り巻く社会情勢の変化も背景として議論しました。

こうした中、令和4年4月に中津幼稚園が認定こども園に移行するとともに、既に認定こども園に移行していた愛川幼稚園が昨年の4月からは新たに1歳児の受入れも開始したことなど、園児の受入れ枠が拡大しています。

こうしたことから、田代保育園は、保護者をはじめ官民連携保育推進会議や子ども・子育て会議などでご意見を伺いながら、官民連携の中で、令和8年度末の閉園を視野に入れ検討していきます。



現在の田代保育園(昭和27年開園)

問 GIGAスクール構想推進と校内のICT利活用の状況について

町長 インターネットによる調べ学習など、児童・生徒の理解の促進や関心・意欲を高めるための手段として、様々な教科に活用している。

本町は、令和2年度に全小学校の普通教室や支援級の情報通信ネットワークの基盤整備を行うとともに、全ての児童・生徒に1人1台端末機を配布するなど、ICT環境の整備に努めています。

校内のICT利活用の状況は、インターネットによる調べ学習や基礎・基本の定着を図るための教育コンテンツの学習、画像・動画による視覚化した一斉学習など、児童・生徒の理解の促進や関心・意欲を高めるための手段として、様々な教科に活用しています。

常任委員会での審査

条例議案や令和6年度当初予算の審議をより詳細に行うため、各常任委員会において、現地調査及び質疑を行いましたので、その内容の一部を紹介します。

総務建設常任委員会

付託された条例及び予算の審査は、3月8日に補足説明と現地調査を実施し、13日及び15日は、各議案に対する質疑を実施しました。



慎重な審査を実施

ふるさと納税推進事業費

問 ふるさと納税各種決済手数料の詳細について

答 より多くの方に本町の魅力をPRするため、受付窓口となるポータルサイトの追加を予定し、クレジットカードや電子決済サービスなどを利用した際に発生する決済手

数料をカード会社や同サイト運営事業者に支払うものです。

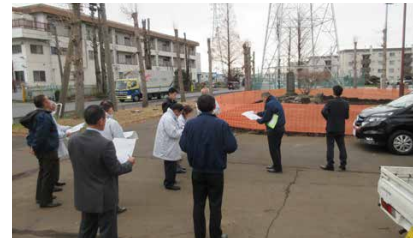
金額は、寄附額に決済手段ごとに定められた割合を乗じて算出し、クレジットカードは税別1%、電子決済サービスは税別3.5%で、当該ポータルサイトの寄附見込額1,227万2千円に決済手段ごとの割合を乗じた30万4千円を見込みました。

中津工業団地第2号公園再整備事業費

問 第2号公園再整備事業費の詳細について

答 第2号公園は、「わたしの提案」等でバスケットゴールの設置を望む声が多く寄せられていることから、開墾記念碑がある空き地にバスケットコートを整備します。再整備事業費の詳細は、小学生用のハーフコート1面と、大人用のハーフコート1面の整備に係る工事費のほか、コートの周囲に設置するフェンス

の購入費など、計820万円を見込みました。



第2号公園にバスケットコートが整備されます。

教育民生常任委員会

付託された条例及び予算の審査は、3月8日に補足説明と現地調査を実施し、14日及び18日は、各議案に対する質疑を実施しました。



病児保育事業費

問 病児保育施設整備事業費補助金の詳細について

答 本事業は、病気やけがを理由に登園・登校ができない場合に、児童を一時的に預かる病児保育施設を、令和7年4月に町内に開所予定の事業者に対し、国の交付金を活用し、施設整備に係る経費を補助するものです。

補助金の詳細は、補助対象となる施設整備費に対し、国・県、町がそれぞれ10分の3ずつ、事業者が10分の1を負担するとされており、整備費が3,000万円であることから、国・県・町それぞれ負担分900万円を合わせた2,700万円を交付するものです。



体育施設業務管理経費

問 トレーニングマシン賃借料（新規導入分の詳細について

答 新規に導入するトレーニングマシンの詳細は、既存の器具と比べて操作が簡単でデザイン性のあるランニングマシンなどの有酸素系運動器具や、チェストプレスなどの筋力を強化する無酸素系運動器具のほか、ダンベルやストレッチ器具など、合わせて24機種、30台分の器具を5年間のリース契約により導入するもので、令和6年度は、10月から令和7年3月までの6カ月間の賃借料を計上したものです。



第1号公園体育館トレーニングルームの調査

討論

本会議最終日（25日）に、各会派が町長提出議案に対する討論を行いました。内容の一部を紹介します。

※議会における「討論」とは提出された議案に対して「賛成・反対」の旨とその理由を述べて、他の議員を自己の意思に賛同させることを目的とする発言のことです。

条例議案

在宅障害者福祉手当条例

反対

共産党
鈴木 信一 議員

長きにわたる経済の停滞により暮らしが疲弊し、この間のコロナ禍や物価高騰が暮らしを脅かしています。一部大企業による賃上げが報道されていますが、7割を占める中小企業の賃上げはまだまだ困難な状況です。

こうした厳しい経済状況の中で、在宅障害者福祉手当を削減することは認められません。

賛成

令和あいかわ
阿部 隆之 議員

本条例改正は、将来にわたり持続可能な在宅支援の在り方を考えた中で、福祉手当による現金給付と、その他の福祉サービスによる給付のバランスを考慮する必要があることから行われ、改正

予算議案

賛成

愛川の新時代
山中 正樹 議員

要望等を交えながら討論します。

庁舎等維持管理経費のうち、本庁舎1階レイアウト等改善についてです。1階に限らず、令和6年度は部及び課の大幅な入れ替えがあり、町民・利用者からすると役場庁舎は大きく変貌することになりそうです。

高齢介護課及び地域包括支援センターの窓口スペースが手狭になっていることから、プライバシー配慮型カウンターや憩いの場を設け、併せて水道事業所を分館に移設す

るものです。

今後の高齢者増加を見据えたものであり、利用者の皆さんにも分かり易い案内表示に工夫するとの回答も得ており、納得のいく内容です。



本庁舎1階のレイアウトが一部変更されます。

一方、本庁舎は既に耐震性能が基準に達しておらず、耐震補強もできない構造であることが明らかにになっており、更に鉄筋コンクリート造の耐用年数も概ねあと10年と、建替えの準備をしなければならぬ時期が差し迫ってきています。町民代

表の議事機関である議会棟も絡んでいますので、計画的で余裕のある期間を持つて構想を示すことを願うものです。

図書館運営事業費のうち、電子図書館事業は昨年からはじめたもので、歓迎している方々は大勢います。しかし、利用人数と貸し出し実績が紙の書籍に比べて桁違いに少ないのが実情です。その要因として、電子書籍の蔵書が少ないことが挙げられます。今後は、購入に力を入れるよう要請します。

賛成

公明党
岸上 敦子 議員

若干の意見・要望を入れながら、主な事業について討論します。

一般会計予算規模は、過去最大で、全会計では、27パーセントのプラスとなりました。

新年度における町税収入の見通しは、昨年に引き続き個人町民税、固定

資産税、軽自動車税の増収が見込まれ、良好な状況です。

防災対策費では、防災のつどいや幼少期からの防災意識を高めていくため、保育園や小中学校への訪問による防災教室の開催、大規模災害発生への対応を強化するため、令和8年度までの3カ年における備蓄品の整備などを盛り込んだ「仮称防災力強化計画」が作成されます。

能登半島地震を踏まえ、これまでの災害における教訓なども活かした町民皆様の防災意識を高めるための更なる取り組みに期待します。

予防接種事業は、帯状疱疹の発症や重症化を予防するため、ワクチン接種に係る費用の一部を助成する事業が始まります。対象者は50歳以上で、ワクチン接種できることを知らない方も多くいます。本事業の周知徹底を切に願います。

污水対策事業では、污水本管の整備や管路の状況を把握するためのカメラ調査が引き続き実施されます。雨水対策事業とともに計画的な施設の改築・更新を行い、安定したサービスの提供と経営の健全化に努めていくことを希望します。

限られた財源や人材資源を有効的に活用し、町民の皆様の声に耳を傾け、一人ひとりの幸せを願い、それぞれの思いに寄り添った、きめ細やかな施策事業が展開されることを期待します。

再整備構想図
中津工業団地第
1号公園再整備
基本計画より



また、第2号公園再整備事業について、バスケットゴールの設置は多くの小中学生の要望に応えたものであり、評価します。今後とも、都市公園としての機能強化に努めてください。

学校で管理・徴収を行っている給食費を自治体で管理する公会計化への移行は、教職員の負担軽減につながりますが、町職員の事務の負担増にならないよう対策をお願いします。

さらに、公会計化により、給食費の納付先を現行の「ゆうちょ」も合わせて12行へ拡大することは、保護者の負担軽減につながり評価します。同行移り内容も含め、保護者への周知徹底をお願いします。

遊休荒廃農地の対策で、あいかわ準農家制度が浸透し、活用が図られています。農地所有者の高齢化等により農地を維持できない方が増加傾向にあるため、聞き取りをしながら専門農家とのマッチングに努めてください。

企業誘致条例は、適用期間の5年間の延長と共に、立地や増資に伴う固定資産税と都市計画税を始めた2年間は全額免除、残りの3年間については5分の1に軽減し、雇用等の効果が見込まれることから、評価します。

賛成 令和あいかわ 茅考之議員

未来への期待と意見、要望を踏まえ討論します。

令和8年度から12年度を計画期間とする「地域公共交通計画」の策定は、しっかりと本町の未来を考えた計画としてください。特に、オンデマンド交通は、高齢者の移動だけでなく、買い物支援にも役立ち、子ども達の部活や習い事による自立や親の負担軽減、障がい者の自立や観光の手段としても有効な事業となり、この計画の中で、しっかりと町民の意見を聞き、実証実験に向けた取り組みなど、本町の未来のために、同交通を計画に盛り込むよう要望します。

介護保険特別会計は、6年度からスタートする「第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、介護サービスの質の向上や適正な事業運営に取り組んでください。特に令和7年には、団塊世代が75歳以上となり、総人口と生産年齢人口が減少するので、中長期を見据えた事業運営に努めてください。

水道事業会計は、防災対策事業として、各ポンプ場の計画性を持った維持管理、防災まで考えた計画を高く評価します。引き続きシリカが多く含まれた美味しい水を町民の皆さまにお届けできることを期待します。

町長が掲げられた6年度予算編成や事業は、町民の事を一番に考えられた「幸せというエッセンス」が加えられた予算編成であることを確信し、愛川町が愛川町であり続けるため、確実に実行して頂く事を期待します。



多言語機能別
消防団を新設



詳細はこちら



带状疱疹ワクチン接種費の一部助成が始まりました。

賛成 共産党 小林 敬子 議員

後期高齢者医療特別会計予算案を除き、提案や意見を交え討論します。

第1号公園の再整備事業は、新たに人工芝の多目的の広場を整備するとともに、トリム広場に防災面も兼ね備えた屋外トイレや釜戸ベンチを設置することを評価します。なお、テニスのオムニコートは、改修を要請します。

令和6年 第1回(3月)定例会議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
町長提出第3号	愛川町学校給食費の管理に関する条例の制定について	可 決
町長提出第4号	愛川町立学校給食共同調理場条例の制定について	可 決
町長提出第5号	愛川町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第6号	愛川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第7号	愛川町立第1号公園体育館条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第8号	愛川町都市公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第10号	愛川町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第11号	愛川町町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第12号	愛川町公共下水道事業の設置等に関する条例及び愛川町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第13号	愛川町企業誘致等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第14号	愛川町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第15号	愛川町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第16号	愛川町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第17号	令和5年度愛川町一般会計補正予算(第8号)	可 決
町長提出第18号	令和5年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可 決
町長提出第20号	令和5年度愛川町介護保険特別会計補正予算(第3号)	可 決
町長提出第21号	令和5年度愛川町公共下水道事業会計補正予算(第2号)	可 決
町長提出第22号	令和5年度愛川町水道事業会計補正予算(第2号)	可 決
町長提出第23号	令和6年度愛川町一般会計予算	可 決
町長提出第24号	令和6年度愛川町国民健康保険特別会計予算	可 決
町長提出第26号	令和6年度愛川町介護保険特別会計予算	可 決
町長提出第27号	令和6年度愛川町公共下水道事業会計予算	可 決
町長提出第28号	令和6年度愛川町水道事業会計予算	可 決
町長提出第29号	財産の取得について(職員事務用椅子購入)	可 決
町長提出第30号	財産の取得について(教師用指導書購入)	可 決
町長提出第31号	工事請負契約の変更について(令和5年度平山下平線第1工区改良工事)	可 決
町長提出第32号	町道路線の認定について	可 決
町長提出第33号	令和5年度愛川町一般会計補正予算(第9号)	可 決
町長提出第34号	損害賠償額の決定について(物損事故に係る損害賠償)	可 決
議員提出第1号	愛川町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可 決

●意見が分かれた議案

○…賛成、●…反対

議案番号	議員名 議案等の件名	愛川の新時代					公明党			日本共産党 愛川町議員団			令和あいかわ			議決結果	
		渡 辺 基	山 中 正 樹	花 上 功	熊 坂 健 太 郎	茅 大 夢	佐 藤 り え	井 出 一 己	岸 上 敦 子	鈴 木 信 一	井 上 博 明	小 林 敬 子	茅 孝 之	小 島 総 一 郎	阿 部 隆 之		
町長提出 第 9 号	愛川町在宅障害者福祉手当条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	●	●	●	○	○	○	可	決
町長提出 第 1 9 号	令和5年度愛川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○		○	●	●	●	○	○	○	可	決
町長提出 第 2 5 号	令和6年度愛川町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○		○	●	●	●	○	○	○	可	決
陳 情 第 1 号	年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情	○	○	○	○	○	○		○	●	●	●	○	○	○	趣旨了承	
陳 情 第 2 号	女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書の提出を求める陳情	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	●	●	●	採	択
議員提出 第 2 号	女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	●	●	●	可	決

※議案の内容はP2～4を参照

一般質問

紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは役場等に備え付けてある「会議録」をご覧ください。インターネットでもご覧いただけます。
なお、3月定例会の会議録は、6月中には閲覧できる予定です。

※各議員の写真の横にある2次元コードを読み込むと、本会議での質問動画がスマートフォンやタブレット端末でご覧になれます。



茅 孝之 議員 P.11

・災害に強いまちづくりについて

佐藤 りえ 議員 P.14

・自転車の安全対策について ほか

井上 博明 議員 P.12

・中津工業団地第1号公園施設の管理について ほか

茅 大夢 議員 P.14

・ふるさと納税について ほか

鈴木 信一 議員 P.12

・老人クラブに対する町の現状と課題について ほか

花上 功 議員 P.15

・人口減少対策について ほか

小林 敬子 議員 P.13

・外国人との共生社会について ほか

渡辺 基 議員 P.15

・町職員の労働環境について ほか

岸上 敦子 議員 P.13

・子ども・若者支援について ほか

熊坂 健太郎 議員 P.16

・高齢者の外出支援について ほか



©愛川町

町長 令和6年度の指定避難所運営訓練では、能登半島地震の課題を洗い出し、災害対策本部設置訓練や電気等のライフラインの寸断を想定した訓練などに関係機関の協力もいただき、実施する予定です。

課題を洗い出し 想定訓練の実施

問 能登半島地震が発生し、私達は災害から様々なことを学ばなければいけません。その為に、大災害を想定した準備や訓練を進め、災害に強いまちづくりをする必要がありますが、町の考えを伺います。

巨大災害を想定 強いまちづくり



かや
茅



たかゆき
孝之 議員



長野県立科町と相互援助に関する協定書を締結しています。

問 富士山の噴火や南海トラフ巨大地震など、関東で巨大災害が起きた時には、多くの自治体が被災します。そこで、北や南にある自治体と災害に特化した姉妹都市の締結をすることにより、被災した時のリスクを分散でき、それにより備蓄品を共有できるほか、2次避難所の受け入れ、他県職員の支援を素早く受けられるメリットがあります。県外の自治体と災害時における協定を締結しているのか伺います。

災害に特化した姉妹都市締結

立科町と協定締結 災害時に相互援助

危機管理室長 本町の友好都市である、長野県立科町と災害時における相互援助に関する協定書を締結しています。

この協定に基づく相互援助の内容は、職員派遣を始め、資機材や食料品、衣料品等の援助のほか、必要に応じて被災者の受け入れを行うことができるものです。

令和6年5月15日

第1号公園施設マシン等の取組

いのうえ
井上ひろあき
博明 議員

問

令和5年6月定例会において、トレーニングマシンやテニスコートの修繕等について取り上げました。教育長は前向きに検討される旨を答弁されましたが、今後の取り組みについて伺います。

トレーニングマシン更新予算を計上

教育長 令和6年度予算において、多機能型で運動効率がよく、操作が簡単で使いやすい、デザイン性のある外観のトレーニングマシンに全面的に更新するための予算を計上しました。



第1号公園体育館トレーニングルームの器具が更新されます。

避難所のガラス飛散防止対策

問

避難所となつて
いる体育館のガラス飛散防止について、破損したガラスによってけがをしてしまった過去の例もありますが、窓ガラスへの飛散防止フィルムの貼り付けなど、安全対策について伺います。

計画的な整備検討
5か所防止対策済

教育次長 避難所として
いる小・中学校などの体育館の窓ガラスの安全対

問

本町における老人クラブの現状と課題について伺います。

老人クラブ
現状と課題すずき
鈴木しんいち
信一 議員21クラブが活動中
役員のなり手不足等

町長 本町には、21クラブ計1,475人が健康づくりや、趣味の集まりをはじめ、地域での清掃活動や子どもの見守り等に取り組んでおり、その運営費の一部を助成しています。

一方、近年では様々な要因による会員の減少や、役員のなり手不足等からやむなく解散する等の影響が出ていることから、

中学校への制服指導

問

中学生の制服について、町は各学校にどのような指導を行ってきたのか伺います。

柔軟に対応・助言
生徒の選択肢広がる

教育長 生徒の選択肢を広げるため、校長会等様々な機会を通して、柔軟に対応するよう指導・助言をした結果、各校の最終的な判断より3校とも多様な性自認や機能



ふれあい農園の草取りの様子
(中津地区老人クラブ)

全国の先進事例などを参考に、持続可能な組織運営につなげたいと考えています。

性に配慮した「制服のジエnderレス化」採用を決定しました。現在は性別に関係なく、制服を選択できるようになっています。

近年、制服のあり方が議論される中、3中学校では生徒会からの発案で、熱中症対策等を目的に夏季の登下校を制服ではなくジャージに切り替えるといった試みが行われ、多くの生徒から好評を得たと聞いています。

町長 自治体の中には生活上の困りごとを抱える外国籍住民に対して、支援活動を行うコーディネーターやコミュニティの橋渡し役を担う人材をボランティアとして募集し、配置する事例もあります。

本町は、こうした多文化共生に関わる先進事例を参考にしながら、誰もが地域社会の一員として

先進事例を参考 関係機関と連携

問 外国人との共生社会の取り組みを推進するため、支援員を配置する考えについて伺います。

外国人と共生社会 支援員の配置



こばやし けいこ 議員
小林 敬子



**危険な立木の伐採
撤去費用一部補助**

町長 ナラ枯れ被害対策の基本的な考えは、森林病原虫等防除法に基づき、森林の所有者または管理

問 一部の市でナラ枯れの被害を未然に防ぐために、ナラ枯れ被害木処理補助金を交付する事業を実施していますが、本町の考えについて伺います。

ナラ枯れ被害木処理補助金



愛川町勤労祭
野外フェスティバルの様子

安心して暮らすことができ、関係機関と連携し取り組んでいきます。

者が被害対策を実施することが前提となっています。

本町は、ナラ枯れ被害対策に限定した補助制度は設けていませんが、ナラ枯れによる危険木を含め、一定の条件下において、危険木の倒木により被害が生じる恐れのある範囲に家屋等がある場合は、危険な立木の伐採や撤去処分に要する費用の一部を補助しています。

子どもの意見尊重 理念に沿った施策

問 こども基本法の理念に基づく本町の取り組みについて伺います。

こども基本法 本町の取組み



きしがみ あつこ 議員
岸上 敦子



町長 こども基本法は、子どもの意見を尊重した上で、子ども・子育て支援施策を進めていくことが求められています。

本町においては、引き続き子ども議会や中学生とのオンラインミーティングなどを通して、子どもたちの声を直接聞くなど、同法の理念に沿った施策を進めています。

**体験学習などを実施
パンフレットの配布**

教育長 ホームページや広報紙などによる防災情報の提供や、防災のつどいの開催のほかに、令和5年度は幼少期から防災意識を高めるため、保育園では防災アニメの鑑賞などを取り入れ、わかりやすい防災教室を実施したほか、小学校では起震

【その他の質疑項目】
下水道施設の老朽化対策とイメージアップ戦略について

問 町民に対する、防災意識を高めるための対策について伺います。

防災意識を高めるための対策

また、昨年は関東大震災から100年の節目でもあったことから、改めて地震災害に対する意識を高めるために啓発パンフレットを町民に配布するなど、防災・減災の意識高揚に努めました。



こども家庭庁
ホームページ



令和6年5月15日

「スクエアード・ストレイト」交通安全教室積極的に導入



さとう りえ 議員



問 スタントマンによる実演で事故の怖さを学ぶ「スクエアード・ストレイト」を自転車交通安全教室に積極的に取り入れる考えを伺います。

意識の醸成に効果実施へ調査・研究

町長 厚木警察署などから助言をいただきながら交通安全意識の醸成に効果のある効果的な実施に向けた調査・研究を行うなど、引き続き実効性の高い交通安全教育や普及啓発活動の推進に取り組んでいきたいと考えています。



骨密度測定の様子
(4月12日 健康プラザ)

骨粗しょう症健診の実施

問 骨粗しょう症の潜在患者数は全国で1,590万人と推測されています。特に女性に多く、男性は女性の3.3倍に当たるとされ、自覚症状が乏しいことから、骨折のリスクが高まり、骨折により歩行困難で、要介護状態になってしまう場合も少なくありません。そこで骨粗しょう症健診の実施について伺います。

町長 本町では、町内在住の成人の方を対象に「骨粗しょう症予防測定会・相談会」を毎月開催し、骨量を計測する骨密度測定と合わせ、保健師や管理栄養士による食生活等のアドバイスをを行っています。

引き続き、各種健康づくり事業など様々な機会を捉え、予防に対する啓発に努めています。

ふるさと納税今後の課題



かや ひろむ 大夢 議員



問 ふるさと納税の今後の課題について伺います。

自治体間に格差寄付件数の増加

町長 返礼品競争が激化し、自治体間の格差拡大が問題となってきています。本町としても、いかにして魅力のある返礼品を増やし、実質的な収支をプラスにつなげていくかが問われています。

また、SNSを活用した情報発信も検討するなど、寄附件数の増加につなげていきたいと考えています。

大学等通学費助成の考え

問 大学等通学費助成の考えについて伺います。

経済的負担を認識国の状況注視する

町長 大学等への進学率が高い水準となつていますが、学費や通学費用などの経済的負担は全国的な課題です。町独自の大学等への通学費助成については、今後、国の大学無償化制度をはじめとした新しい少子化対策案の状況を注視していきます。

こうした経済的な問題を起因として転出者が増加してしまうといった状況は、本町の定住環境を整備する上でも解決しなければならぬ課題の一つであると思っています。



イラストはイメージです

町長 人口減少問題は喫緊の課題と捉え、「人口減少対策庁内検討会議」を立ち上げ、転出手続きの際のアンケート調査や世代別の人口動態などを分析しながら、移住定住

切れ目のない取組 移住促進にも努力

問 全国的に少子高齢化が進行する中、人口減少を少しでも遅らせるために、本町では様々な事業を展開してきました。そこで、本町がこれまでに取り組んできた人口減少対策について伺います。

少子高齢化進行 人口減少の対策



はなうえ いさお
花上 功 議員



写真はイメージです

産婦人科の誘致について

促進に意を注ぎ、出産から子育てに渡る切れ目のない様々な取り組みを続けてきました。

問 出産を希望する町民からの切実な願いは、安心してすぐに通院できる産婦人科の確保であると思います。しかし、本町には産婦人科がなく、受診するには町外の産婦人科に行かなくてはならない状況にあります。そこで、産婦人科の誘致の考えを伺います。

町長 少子化が進む時代の中、新たに産科を誘致することは、大変厳しい状況であると考えていますが、子どもを安心して産み育てるためには、医療の充足は重要と認識しています。そのため、引き続き医療機関や県などと情報共有を図りながら、地域医療の充実に努めます。

大変厳しい状況 情報共有に努力

毎年意見を交換 実施の考えなし

町長 毎年、職員組合とは意見交換を通じて、職場環境の改善や要望を聞きながら、できる限りの対応に努めているところで、改めてアンケート調査の実施は考えていません。

職員の労働環境 アンケート調査



わたなべ もと
渡辺 基 議員



問 町職員の流出は、行政運営の根幹を揺るがしかねない大きな課題です。そこで、労働環境のアンケート調査の実施の有無について伺います。

町長 本計画においては、建物の構造や耐震基準へ

長寿命化に不適合 第二期計画で検討

問 公共施設個別施設計画の第一期の期間中に、耐震性のない本庁舎の改修を明記しなかった理由について伺います。

の対応状況に応じて、目標使用年数を設定しており、役場本庁舎は旧耐震基準の建物で長寿命化に適さないことから、令和22年度までを計画期間としている第二期計画において、周辺の公共施設を含めて機能再編などを検討します。

個別施設計画の本庁舎改修



現在の役場庁舎

令和6年5月15日

高齢者の外出支援事業の現状について



くまさか けんたろう 議員 熊坂 健太郎



問

本町は、高齢者を対象に外出機会
の拡大と社会参加への
支援、健康・いきがい
づくりの増進を目的
に、様々な外出支援事
業を行っています。が、
外出支援事業の現状に
ついて伺います。

社会参加と健康作り
生きがい増進取組む

町長 本町は、高齢者の
社会参加や健康づくり、
生きがいづくりの増進を
図るために、高齢者バス
割引乗車券（かなちゃん
手形）や電動アシスト三
輪自転車の購入費助成を

はじめ、タクシー利用券
の交付のほかに、運転免
許証を自主返納された方
に対して、かなちゃん手
す。

愛川・ささえあいポイント事業

問

本町で行われて
いる愛川・ささえ
あいポイント事業の現
状について伺います。

ボランティア活動
報奨金を交付する

町長 高齢者の社会参加
や地域貢献への動機づけ
のほかに、介護予防の一
助とするためにボランテ
ィア活動に対してポイン

愛川・ささえあいポイント
事業の詳細はこちら

形や循環バス利用券を交
付するなど、外出支援へ
の取り組みを進めていま
す。

トを付与し、ポイントに
応じた報奨金を交付する
事業です。

このポイント付与の対
象となる活動は、町内の
介護施設や障害者支援施
設などにおけるレクリエ
ーション活動などの手伝
いや施設内の除草作業な
どのほかに、本町が実施
する健康体操をはじめと
する各種の介護予防事業
となっています。

愛甲郡町村議会
議員研修会

令和6年3月27日に、
愛甲商工会館2階会議室
において、愛甲郡町村議
会議員研修会を次のとお
り開催しました。



講師

長谷部 愛氏
（気象予報士／防災士）

研修テーマ

「異常気象と防災」
地球温暖化による異常
気象について、天気図を
用いた説明を受けました。

国へ意見書を提出

※意見書の内容は一部抜粋して掲載

意見書の
詳細はこちら

◎女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見
書の提出
（賛成10人、反対3人）

女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書

女性差別撤廃条約選択議定書は、女性差別撤廃
条約の実効性を高めるために1999年に国連で
採択された付属の条約であり、現在、女性差別撤
廃条約の締約国189か国中、115か国が選択
議定書を批准している一方、日本は批准しており
ません。

日本における男女平等の実現は、いまだ途上に
あり、国連総会で設立を促す決議がされている国
内（人権）機関が存在せず、国内における男女差
別の是正に向けて、さらに改革のスピードを進め
ることが期待されています。

女性の権利を国際基準にする重要な第一歩であ
ると考えることから、女性差別撤廃条約選択議定
書の批准を求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書
を提出します。

令和6年3月25日

衆議院議長、参議院議長、

内閣総理大臣、外務大臣

内閣府特命担当大臣（男女共同参画担当大臣）殿

第31回 議会クイズ

- 問1** 表紙に写っている橋はどの橋でしょうか？
①八菅橋 ②日向橋 ③角田大橋
- 問2** 令和6年度の当初予算の総額はいくらでしょうか？
①26億5,228万3千円
②265億2,283万8千円
③2,652億2,838万1千円
- 問3** 愛甲郡町村議会議員研修会のテーマはなんですか？
①異常気象と防災 ②異常気象と減災 ③通常気象と防災

この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後までよく読んでみてください。正解者の中から抽選で3名の方に、商品券をお贈りします。



©愛川町

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また**必ず**議会だよりの感想（紙面の見やすさなど）をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。

《しめきり》 5月31日（金）（郵送の場合は当日消印有効）

《あて先》 ●はがきの場合 〒243-0392
角田251-1 議会事務局
●ファクスの場合 046-286-5021
●電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp
●オンラインでの場合 右記の2次元コードを活用して、応募ができます。

☆正解と当選者は次号で発表します。



第30回議会クイズの 答えと当選者

前号の議会クイズの正解と当選者は次のとおりです。

《正解》

問1・②デジタル推進課
問2・①2件
問3・①5月11日

《当選者》

別府 和子 様
酒見 悦子 様
柏木 篤太郎 様
以上3名

議会だよりは、愛川町録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障がい者用にCD化されています。
ご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。
Tel 046-286-2111
(内線3792)

視察来町

沖縄県南風原町
はえばるちよう

視察日 2月7日（水）

来庁者

南風原町議会
議会運営委員会
知念富信 委員長
ほか 8名

視察内容

議会活性化について
（意見交換会、議会改革、議会基本条例など）



視察の様子

南風原町議会 議会運営委員会の皆様を歓迎



次回定例会 のお知らせ

次回、第2回定例会の日程は左表のとおりです。会議はいずれも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は5月24日に開催する予定です。日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

令和6年第2回6月定例会日程（予定）

月	火	水	木	金	土	日
5/27	5/28	5/29	5/30	5/31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
本会議 (提出議案の説明)		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)			
10	11	12	13	14	15	16
総務建設 常任委員会	教育民生 常任委員会			本会議 (総括質疑、 討論、採決)		

あいかわ・ほっこり写真館

木々の緑が力強く色づく新緑の季節となりました。
表紙写真を含め、担当する委員一人ひとりが自然あふれる愛川町の魅力を
町民皆さまにお伝えするため、写真を撮影してきました。
それぞれの写真を見て、心が「ほっこり」していただければ幸いです。



「川の流れのように」
歌おうかな



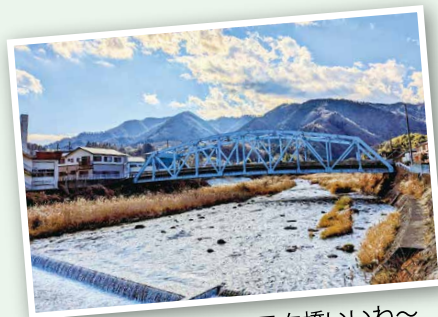
いっしょに育てようね
自然を愛する豊かな心



コタロー君こんにちは



夏の子ども神輿



川北地区から見た日向橋いいね～



花と平山橋



中津川のサギ



能登への祈り
一日も早く震災前に戻るように

◎議会クイズは17ページに掲載しています。

議会だよりあいかわ第182号は、令和6年7月15日発行・配布予定です。

編集後記

3月定例会では、過去最大規模となった新年度予算のほか、補正予算や条例の制定など、合計で33件の町長提出議案を審議しました。会派代表質問や討論などもあり、通常よりも文字数は多くなりましたが、是非お読みください。表紙は、町の魅力が伝わるように議員が撮影して持ち寄った写真の中から選定したものです。ほっこり写真館や議会クイズも好評をいただいております。引き続き皆さまに親しまれる議会だよりを作るため、より一層の工夫を凝らし努力してまいります。

広報広聴常任委員会

委員長 鈴木 信一

副委員長 熊坂健太郎

委員 茅 孝之

委員 花上 功

委員 岸上 敦子

委員 佐藤 りえ

委員 阿部 隆之

委員 小林 敬子